

平成29年度 船員災害疾病発生状況【疾病編】②

今週も疾病の発生状況についてご紹介します。
※29年度の数値は、速報値です。

▽生活習慣病の発生人数(死亡者数)・「35歳以上の船員」

病名	生活習慣病			糖尿病	高血圧	肝臓病	合計
	がん	脳卒中	心臓病				
29年度	38人(0人)・「37人」	30人(2人)・「30人」	31人(3人)・「30人」	4人(0人)・「4人」	5人(1人)・「5人」	3人(0人)・「3人」	111人(6人)・「109人」
28年度	46人(1人)・「44人」	48人(2人)・「47人」	29人(7人)・「28人」	11人(0人)・「9人」	3人(0人)・「3人」	8人(0人)・「8人」	145人(10人)・「139人」

・具体的な症例

が ん …… 胃がん、肝臓がん、肺がん、前立腺がん、膀胱がんなど
脳卒中 …… くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞など
心臓病 …… 心筋梗塞、狭心症、心不全、心室細動など
肝臓病 …… 肝硬変、肝炎、肝膿瘍など

生活習慣病の発生状況をみると、疾病発生人数539人のうち111人(21%)で、35歳以上の船員が98%(109人)、生活習慣病が原因で死亡した者は6人で全体(10人)の多数(60%)を占めています。

また、三大生活習慣病である「がん、脳卒中、心臓病」が生活習慣病の89%(99人)を占めています。

生活習慣病を予防するためには、早期の診断・発見といった検査や治療を受けることに加え、食生活の改善(塩分・脂肪分を取り過ぎない)、適度な運動、節度ある飲酒・喫煙など、日常生活における対策が重要です。

35歳以上の船員のみならず、若い船員も日常生活を見直し、年代を問わず船員一人一人が自己管理を徹底しましょう。

〔ファクスだより〕

2019年1月11日(金曜日)